



後期インターナショナルオフィスの活動

平成23年度第3回インターナショナルオフィスFD・SDワークショップ

平成23年11月29日(火)に平成23年度第3回インターナショナルオフィスFD・SDワークショップを開催しました。場所は幸町キャンパス第1会議室の他、工学部キャンパスから遠隔会議システムを使用して実施され、本学教職員約20名の参加がありました。

ワークショップでは高水インターナショナルオフィス講師による「国際教育・研究・交流における香川大学と地域との連携」について概要説明の後、飯田インターナショナルオフィス副オフィス長から「国際的な研究交流の活性化に向けて」、ロンインターナショナル副オフィス長から「留学生センターにおける教育・交流・連携の取り組み」の発表がありました。

発表に引き続いての質疑応答、意見交換では、地域貢献を意識した国際交流について活発な意見交換がなされ、インターナショナルオフィスに対する要望や具体的な提案なども出され、今後国際交流を推進していくための貴重な意見交換の場となりました。

(国際グループ 浅野 文恵)



飯田インターナショナル副オフィス長による発表の様子



会場の様子



高松市・セントピーターズバーグ市姉妹都市提携50周年記念 パネル展及び講演会・懇談会の開催

平成23年10月26日(水)～11月13日(日)、高松市が実施する「第1回 姉妹・友好都市週間in高松」の記念事業の1つとして、本学図書館中央館においてセントピーターズバーグ市内及び大学のパネル展を開催しました。香川大学は、平成23年2月28日に、セントピーターズバーグ大学と学術交流協定を締結しており、大学の位置するセントピーターズバーグ市と高松市が姉妹都市提携50周年にあたることから、記念事業の1つとしてパネル展を開催したものです。

パネル展では、セントピーターズバーグ大学の様子や市内の様子、香川大学の国際交流の状況などを紹介するパネルを展示しました。

また、11月11日(金) 14時30分から本学(教育学部415教室)において、大阪・神戸アメリカ総領事館総領事を招へいして「もっと高松・もっとアメリカ」記念講演会・懇談会を開催しました。

講演会・懇談会に先立って行われた学長表敬訪問では、本学からは長尾学長、板野理事、竹中教育学部副学部長他が出席しました。

講演会には本学学生、高松市職員、県内の国際交流団体の方々など約250名が参加し、ロン留学生センター長による、「セント・ピーターズバーグ大学、香川大学の紹介」、平教育学部教授による「留学のすすめ」の講演のあと、リネハン総領事による記念講演「姉妹都市交流、日本とアメリカ」が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。リネハン総領事は流ちょうな日本語でジョークを交えながら、英語上達のこつや、「外国に行き、その国の歴史・文化を理解する中で、母国のことが初めて分かるようになる」とアドバイスしました。

講演会に引き続き行われた懇談会には約120名が参加し、学生らは英語で積極的に総領事に質問し、活発な意見交換が行われました。

(国際グループ 浅野 文恵)



パネル展の様子



学長表敬訪問の様子



講演中のリネハン総領事



懇談会にて質問する学生

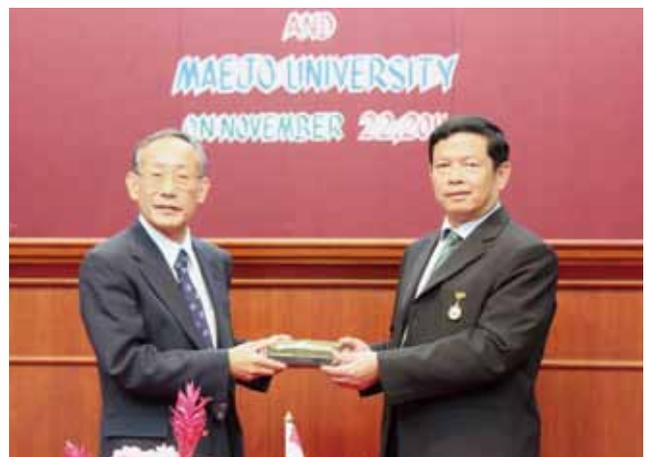
学術交流協定締結調印

- 2011年 9月18日 熱帯農業に関するSUIJI (Six University Initiative Japan Indonesia)ジョイント・ディグリー・プログラム覚書
- 2011年10月20日 本学とコンピエーネ技術大学とのオープンレクチャー試行のための細則
- 2011年10月25日 本学工学部及び大学院工学研究科とリモージュ大学高等工学院とのオープンレクチャー試行のための細則
- 2011年11月22日 本学とメチョー大学との間の学術交流協定書(※)、本学とメチョー大学との学術交流協定書に基づく学生の交流に関する実施細則(※)、本学農学部及び大学院農学研究科とメチョー大学農業生産学部及び大学院研究科との学術交流協定に関する実施細則(※)、本学農学部及び大学院農学研究科とメチョー大学畜産学部及び大学院研究科との学術交流協定に関する実施細則
- 2011年12月 1日 本学教育学部とクライストチャーチ・ポリテクニク工科大学との学術交流協定書(※)、本学教育学部とクライストチャーチ・ポリテクニク工科大学との学術交流協定に関する実施細則(※)
- 2012年 1月16日 本学と長春理工大学との学術交流協定書、本学と長春理工大学との学生交流プログラムに関する実施細則、本学工学部及び大学院工学研究科と長春理工大学工科系学院の学術交流協定に関する実施細則
- 2012年2月22日 国際メカトロニクス研究教育機構(IOREM)の加入に関する一般協定(三重大学)
- 2012年3月(予定) 本学医学部看護学科及び大学院医学系研究科看護学専攻とチェンマイ大学看護学部及び大学院看護学系研究科との学術交流協定に関する実施細則
- 2012年3月(予定) 本学工学部及び大学院工学研究科と北京師範大学化学学院との学術交流協定書、本学工学部及び大学院工学研究科と北京師範大学化学学院の学術交流協定に関する実施細則、本学工学部及び大学院工学研究科と北京師範大学化学学院との学生交流プログラムに関する実施細則
(※)協定締結大学側の組織再編による再締結

(国際グループ 古島 愛)



長春理工大学との調印式



メチョー大学との調印式

部局の国際交流

教育学部

●平成23年9月16日(金)

遠隔教育研究室において、コロラド州立大学名誉教授 Anthony T. Tu 先生を招いて、国際交流研究会を開催しました。第一部では、機能性材料を模索するー Sea Snake Venoms に関する研究成果について報告され、第二部では、イラン・イラク戦争における化学物質の影響に関する解説がありました。

●平成23年11月24日(木)

11月24日(木)、SS&SVプログラムで本学部にショートステイするタイのチェンマイ大学の学生(9名)およびスタッフ(4名)が教育学部を表敬訪問しました。18時から、生協食堂において、「留学生を囲む会～チェンマイ大学来訪歓迎～」を開催し、韓国、中国等からの留学生やチューターらの学生とともに、楽しい時間を過ごしました。

●平成23年12月1日(水)

山神眞一学部長、高木国際交流委員長、バテン准教授(CPIT担当)、井上専門職員(国際交流担当)が、クリストチャーチ・ポリテクニク工科大学(CPIT)ケイ・ジャイルズ学長を表敬訪問し、続いて調印式を執り行いました。両大学の研究および学生交流のさらなる発展が期待されます。

(教育学部 高木 由美子)



国際交流研究会の様子



表敬訪問(チェンマイ大学)



留学生を囲む会(H23.11.24)



CPITにおける調印式

医学部とインターナショナルオフィス

■ブルネイ・ダルサラーム大学学生の表敬訪問および学生交流

平成23年12月7日(水)、ブルネイ・ダルサラーム大学から本学医学部へショートステイプログラムにより留学している8名の学生が、インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。また、15日(木)には幸町キャンパスを訪れ、本学学生と英語によるディスカッションの形式で交流を行いました。本学からは留学生や職員も参加し、限られた時間ではありましたが、有意義な議論や発表を行うことができました。

■チェンマイ大学学生の表敬訪問および学生交流

平成24年1月25日(水)には、チェンマイ大学から本学医学部へ同じくショートステイプログラムにより留学している6名の学生が、インターナショナルオフィス副オフィス長を表敬訪問しました。同日に行われたディスカッション形式の交流行事では、さらに多くの日本人学生及び留学生が参加し、和気藹々と交流していました。これらの行事は、本学の学生が海外の学生と英語で話し合う貴重な機会であり、留学生センターと部局が連携して、今後も継続していく予定です。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



ブルネイ・ダルサラーム大学による表敬訪問



ディスカッションの様子



チェンマイ大学による表敬訪問

国際交流活性化の推進

国際ワークショップ「国際遠隔医療の新展開へ向けた産学官民の連携」



会場の様子

国際ワークショップ「国際遠隔医療の新展開へ向けた産学官民の連携～アジアの国々と共に何をすればよいか～」(インターナショナルオフィス国際研究支援センター主催、日本遠隔医療学会・香川県医師会・ヘルスケア・イノベーション・フォーラム(HCIF)後援)が11月18日(金)、幸町キャンパス研究交流棟研究者交流スペースで開催されました。ワークショップには、海外からの参加者15名をはじめ、本学の教職員・学生、学外参加者の計53名が参加しました。日本国内における遠隔医療の現状や、日本の遠隔医療の関係者が国際展開を試みている様子が詳細に説明されたほか、国際遠隔医療を今後さらに発展させるためにはいかなる課題と可能性があるかについて、参加者を交えて、国際比較を含めた多様な意見交換が行われました。



講演者、コメンテーター、海外からの参加者など

講演者と演題

【第1部 日本の遠隔医療の現状と国際応用】

- ・原 量宏 (徳島文理大学理工学部、香川大学瀬戸内圏研究センター、日本遠隔医療学会) 「香川県における遠隔医療と電子カルテネットワークの開発の経緯と今後の国際的な展開」
- ・尾形優子 (株ミトラ) 「周産期電子カルテネットワークプロジェクト、タイへの展開」
- ・飯原なおみ (徳島文理大学香川薬学部) 「電子処方と副作用データベース」
- ・長谷川高志 (日本遠隔医療学会) 「日本の遠隔医療、推進政策と研究動向および国際的取組み」

【第2部 国際遠隔医療の今後の課題と可能性】

- ・Song Yu (首都医科大学附属北京産婦人科病院) 「Medical Situation in Beijing」
- ・樽松八平 (情報通信研究開発機構、BHN テレコム支援協議会) 「NICTにおける医療 ICT の取組み、タイでの遠隔医療について」
- ・徳田雅明 (香川大学医学部) 「ブルネイ・ダルサラーム国における ICT による国際遠隔医療の展開～近いけれど医療に遠い現実～」
- ・安里和晃 (京都大学大学院文学研究科) 「老いるアジアと介護人材の国際移動」
- ・細田尚美 (香川大学インターナショナルオフィス) 「フィリピンにおける医療の現状」

(インターナショナルオフィス 細田 尚美)

平成23年度国際研究支援センター研究会シリーズ第3回、第4回

第3回 「瀬戸内海を介した、世界の内海領域の文化・芸術・産業等の育成・創造と発信に関する国際共同研究」の計画概要と今後の進め方(平成23年10月20日(木))

本学教職員学生や、地方自治体、民間企業の関係者など56名が参加し、瀬戸内海を介した「内海」領域における様々な国際共同研究の可能性について話し合いました。工学部土井教授が「瀬戸内海を介した、世界の内海領域の文化・芸術・産業等の育成・創造と発信に関する国際共同研究」の計画概要と今後の進め方についての構想を説明したあと、国土交通省四国地方整備局池田港湾空港部長から瀬戸内海の産業と海運に関する発表、ならびに株式会社齊藤正毅工場の齊藤代表による「瀬戸内海で育まれた造船技術・建築技術・文化-塩飽大工衆の歴史から」についての発表があり、その後、会場から多くの質問や意見が出て、関心の高さが示されました。



会場の様子



土井工学部教授

第4回 日本学術振興会国際交流事業の概要(平成24年1月19日(木))

日本学術振興会(JSPS)の加藤久国際事業部長がJSPSの国際交流事業の概要、今後の公募の予定、申請の際の留意点等について講演しました。体系的かつ具体例に基づいた明快な講演の後には、各キャンパスで参加した教員から、講演で説明された事業それぞれについての質問が続いたほか、JSPS国際交流事業に対する意見も述べられ、貴重な意見交換の場になりました。

(インターナショナルオフィス 細田 尚美)



会場の様子



加藤国際事業部長(中央)

学生対象行事

平成23年度学長主催外国人留学生交歓会

外国人留学生、教職員及びチューター等日本人学生や、地域や国際交流団体の方々との親睦を深めるため、学長主催による外国人留学生交歓会を平成23年12月1日(木)にオークラホテル高松において開催し、250名が参加しました。

仏生山国際交流協会の方々のご厚意により和装した、留学生の経済学部3年許 璋偉(シュウ チャン ウエイ)さん、工学部4年 Dinh Thi Kim Ngan (ディン ティ キム ガン)さんが司会進行を行い、長尾学長の挨拶に続き、留学生代表の経済学部2年雷 鋨(ライ コン)さんの挨拶、板野総務・研究担当理事による乾杯の音頭で開始されました。懇談の合間には、農学部留学生によるタイの民族舞踊や、吹奏楽団による演奏などのパフォーマンスが披露されました。さらに、香川大学異文化交流会(ICES)の司会により、学長と留学生によるじゃんけん大会が行われ、上位者にはプレゼントも贈呈され、大いに盛り上がりました。

最後にマレーシアの民族衣装を身にまとったロン留学生センター長による挨拶で交歓会を締めくくりました。これを機に本学の留学生達が、さらなる交流の輪を広げ、日本での留学生生活を充実したものにしてくれることを願います。
(国際グループ 浅野 文恵)



長尾学長と留学生



学長とじゃんけん



タイの民族舞踊(Zeang Pong Lang)

新入外国人留学生ガイダンス

平成23年10月8日(土)、留学生センターは新入外国人留学生ガイダンスを行いました。全体の流れとしては、午前中に留学生会館のガイダンス、午後に研究交流棟にてチューター説明会及び留学生のための生活ガイダンスを行い、引き続いて高松北警察署による法令遵守ガイダンスを行う形になっていました。

この中で、留学生会館での生活の中で気をつけるべきことは何か、本学における学生生活での注意点、また、日常生活での留意事項に加えて、留学生として法令遵守に努めることを確認することができました。

上記のガイダンスが終了した後、留学生、チューターに加え、地域の皆様や関連する教職員も参加して、歓迎の情報交換会を行い、留学生たちは以後の本学での学習・研究へ向けて、抱負などを語ってくれました。



留学生へのインタビュー

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



集合写真

課外教育行事

第1回 平成23年9月28日(水)から29日(木)にかけて、第1回外国人留学生課外教育行事を行いました。まず、愛媛県のタオル美術館、伯方の塩工場の2ヶ所を見学した後、広島県福山市の自然研修センターに宿泊しました。2日目は同施設において竹細工の体験を行った後、JFEスチール西日本製鉄所を見学しました。今回は全く異なる分野の2種類の企業見学ができ、日本文化の体験も行うことができました。



竹細工作成中の本学学生

第2回 平成23年10月31日(月)に行われた第2回は、「香川県」にこだわってコースを設定しました。こちらでは、大庄屋のうどん工場を見学した後、満濃池でガイドによる池や「ゆるぬき」に関する説明を受けました。さらに、まんのう公園に移動し、自然生態園をガイドの解説付きで散策することができました。どちらも、ガイドの皆様のご協力なくしては成立しない、貴重な機会でした。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



まんのう公園自然生態園にて

就職活動準備セミナーへの参加

平成23年12月18日(日)留学生センターは、留学生に対する就職支援プログラムの一環として、「外国人留学生就職活動準備セミナー」(JASSO主催)へ参加するためのバスツアーを実施しました。

このツアーは本学の留学生に対して、就職に関する情報収集や必要なスキルを習得するための機会を与え、留学生がより希望に沿った就職ができるよう支援するために行ったもので、日本での就職に興味がある留学生18名が参加しました。



個別企業相談ブースの様子

当日は、メイン会場のほか3会場にわかれており、留学生は自分の行きたい会場に足を運んでいました。

就活オリエンテーション会場では、有名就活サイトの編集者から、日本の就活スケジュールや求める人材、留学生の就職状況、企業が留学生に期待することなどの説明を受けました。

個別企業相談ブースでは、採用担当者から企業について説明を受けながら、留学生は積極的に質問をしていました。

(国際グループ 中塚 紗和子)



会場に向かう留学生たち



就活オリエンテーション会場の様子

留学生のための就職セミナー&ビジネスマナー講座

平成24年1月13日(金)、「留学生のための就職セミナー & ビジネスマナー講座」をアルファあなぶきホール内ギャラリーカフェ「シレーヌ」で実施しました。

本学の留学生に対して、基本マナーや面接前の準備などを通じて、日本の就職事情を理解し、就職活動の基本を学ぶ就職セミナーと、日本のビジネスマナーを会得するため、日本料理の食事作法を含むビジネスマナー講座を実施したもので、14名の留学生が参加しました。

就職セミナーでは、クリアアナプキの就活専門アドバイザーより留学生を取り巻く現状についての説明があり、それを踏まえた上でどのように活動していくべきか、基本マナーに加え、留学生ならではのアピールの方法についても説明がありました。

ビジネスマナー講座では、日本料理食卓作法講師資格を有する割烹店長より、和食の文化や背景についての説明を受けながら、作法を実践し社会人として必要なスキルを学びました。

留学生は、慣れないビジネスマナーに四苦八苦しながらも懸命に取り組み、様々な情報や技術を習得できる、有意義なセミナー & 講座となりました。(国際グループ 浅野 文恵)



就職セミナーの様子



ビジネスマナー講座の様子

海外留学フェア

平成23年10月30日(日)、海外留学フェアが行われました。海外留学に興味をもつ本学の学生に、展示および説明により留学に関する情報を提供する試みで、実施は今回が初めてです。ブースを設置した部局は、教育学部、経済学部、医学部、そして留学生センターです。

ロン留学生センター長からの本学の留学支援制度に関する説明に続いて、カナダに17ヶ月間語学留学していた学生が体験談を発表しました。その後、それぞれのブースにおいて、各部局の教員がそれぞれ特色のあるプログラムを紹介していました。医学部ブースでは、実際に留学した学生が掲示物を作成し、体験を説明していました。参加者は内容、期間、渡航先の特徴などに関して、様々な質問を行っていました。

(国際グループ 中塚 紗和子)



本学の留学支援制度について説明する
ロン留学生センター長



カナダ留学の体験談を発表する学生



教育学部ブースで個別説明を受ける学生



医学部ブース



経済学部ブース

留学生のリクルーティング活動

日本留学フェア(マレーシア)

平成23年12月10日(土)および11日(日)の2日間、マレーシアのクアラルンプールで行われた日本留学フェア(国際教育展)に、本学から工学部高橋教務職員とインターナショナルオフィス高水講師の2名が参加しました。同年9月に開催されたタイでのフェアは日本単独のフェアとしてJASSOが主催するものでしたが、今回はFACON Education Fairという教育展の中の日本セクションに本学がブースを出す形態です。

日本ブース全体の参加者は10日が1475名、11日が1477名ということで少なくはなかったのですが、タイの場合と比較すると、パンフレットのみ受け取って次へと向かってしまうケースが多く、立ち止まった来訪者でも、「授業が日本語で行われる」と聞いて、すぐに立ち去ってしまうこともありました。日本ブース全体が、英語圏のブースに比べてかなり苦戦を強いられていました。

一方で、現地の日本語学校である帝京マレーシア日本語学院の学生も多く訪れ、日本語で質問していました。同校はフェアの前日に訪問することができ、現地の日本語教育事情などを伺うことができました。フェア自体は厳しい状況でしたが、同校には本学への進学希望者がおりますので、今後も本学への留学へとつながることを願っています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



本学ブースでの相談



来訪した本学留学生の友人とKUIO高水(左)

国内における説明会

ニュース第5号では、6月から7月にかけて、日本語学校の留学生や教員向け説明会に5回参加したことをご報告しました。その後、以下の国内における説明会にも参加しましたので、ご報告します。

平成23年9月15日(木)、高松の高松センタービルにて、穴吹ビジネスカレッジ(日本語学科)の校内進学相談会が行われました。「校内」という名称で、参加した学生は穴吹ビジネスカレッジの学生のみでしたが、外部の会場を借りて、複数の教育機関が資料参加や会場参加を行っていた点で、他の説明会と近いものでした。

高松でこのような会が開催されたのは初めてであり、本学にとっても貴重な広報の場となりました。穴吹ビジネスカレッジに関しては、本学から最も近い日本語学校であり、以前から本学へ多数進学しています。本学ブースには23名が訪れました。他の会場とは異なり、地理的なことや交通機関に関する質問などはなく、その分試験制度に質問が集中していました。

平成23年9月30日(金)、岡山外語学院にて、2011年度進学ガイダンスが実施されました。訪問者の質問内容は、試験科目、難易度(要求される点数)、経済面での支援等、毎回必ず聞かれる内容が中心でしたが、岡山という本学への進学者が多い場所であったため、本学を真剣に検討している様子が伝わってきました。

これらの説明会を通して、訪問者が本学へのさらなる興味を持ち、入学してくれることを願っています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)

地域との交流活動

留学生が桜町中学校生と国際交流

平成23年10月17日(日)に、本学の外国人留学生在が高松市立桜町中学校を訪問し、交流活動を行いました。

この取り組みは、中学校における総合的な学習の一環として実施している国際理解教育の1つとして、多くの国々が相互に理解し合い、協力し合うために何が必要なかを学ぶために実施されたもので、本学をはじめ香川県等から派遣された10数名の外国人が、クラス別にわかれて、3年生の生徒向けに、出身国の紹介(地理・歴史)や文化の説明等を行うものです。

本学からは、中国、韓国、ベトナム出身の学生8名が講師として参加しました。自国の民族衣装を着て出身国の紹介を行ったり、自国の歴史にまつわる物語を紹介したり、参加した留学生在がそれぞれ工夫を凝らして行ったプレゼンテーションに、桜町中学校の生徒は熱心に聞き入っていました。

(国際グループ 宮下真来枝)



中国の行政区分について説明する留学生



ベトナムの民族衣装(アオザイ)を着て自己紹介する留学生

第16回 日本語語学研修プログラム

平成24年1月30日(月)から2月10日(金)までの2週間、韓国から5名、台湾から4名、計9名の学生を受け入れて実施しました。今回初めて、本学の交流協定校である誠信女子大学(韓国)から参加があったのは、非常に嬉しいことでした。

第15回から始めた研修生支援の「Buddies」制度に、今回は本学学生11名が登録してくれ、期間中さまざまな交流活動が行われたのも、双方にとって有意義だったことと思います。また、最終日のさよならパーティーで、Buddiesから研修生1人1人に心のこもった色紙がサプライズで贈られたのも、大変印象深く、心温まる一幕でした。



開講式前日にBuddies学生と

(インターナショナルオフィス 塩井 実香)



茶道部(石州流)の協力による茶道体験



書道部の協力による書道体験

留学生の声

Dreams Do Come True



Ridha Anshari
(Indonesia)

Great culture, awesome scenery

This country is a mix of unique traditional culture and modern life in harmony that you can't find in many other countries in the world. Tea ceremony, traditional festivals, along with its martial arts such as karate, kendo and iaido really amazes me. Also, Japan has so many beautiful places such as Ritsurin garden in Takamatsu, the city where I'm living now, Osaka castle in Osaka, and many other beautiful places.

Words can not express how grateful I am to be blessed with the opportunity to live and study in Japan. Japanese people, thank you very much for your kindest hospitality.

(全文は留学生センターのホームページで読むことができます。)

Ridha Anshari

(Teacher Training Program)



From カルチャーショック To お辞儀



Marcus Khoo
(Malaysia)

There have also been many funny moments due to my lack of knowledge about Japanese culture and the Japanese language. For example, there was one day, I wanted to buy a box from a shop, and I was so over-confident of my Japanese vocabulary at that time, that instead of asking for a はこ, I ended up saying "ここに ばかが ありますか?" (～__～;) How embarrassing! I was so thankful that the worker in the shop did not laugh at me, but helped me to find the REAL はこ. I also remember another time, instead of saying 電車のりば I said 電車のぼり to the train conductor. I can go on and on about these embarrassing moments, but all of it will always be unforgettable learning experiences of my life here in Japan.

(全文は留学生センターのホームページで読むことができます。)

Marcus Khoo

(Teacher Training Program)

インターナショナルオフィスからのお知らせ

- 平成 24 年 9 月 19 日 (水) ～ 21 日 (金) の 3 日間、海外教育研究拠点であるタイのチェンマイ大学と香川大学の合同シンポジウムを香川大学幸町キャンパスで開催します。各部局、地域等から多数のご参加をお待ちしております。詳細については、<http://www.kagawa-u.ac.jp/ku-cmu-sympo/> をご覧ください。
- 留学生センターは、Facebook を始めました。<http://www.facebook.com/KUISC> をご覧ください。今後特に学生関連の行事等は、Facebook を利用して発信していく予定です。

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第6号 2012(平成24年).3.31

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町 1-1
Tel : 087-832-1194 Fax : 087-832-1192
E-mail : soryugase@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL : <http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>